



高校存続の意見交換もしました（P12）～議会モニター会議

ひろお 議会だより

No 201

2022年3月1日発行

【令和3年第4回定例会】



広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちゃん」



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

音調津地区に避難施設完成 地域の防災力向上 **2**
一般質問（4人が登壇）

／3回目ワクチン／赤潮被害支援／気候危機

常任委員会 道の駅の開設経緯と地場産品の情報発信 **14**
行政視察 **議員活動の自己評価を実施** **16**

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

防災 減災

音調津地区に 避難施設完成

地域の防災力向上

令和3年
第4回
定例会

12/7～10



海拔43.6mの高台に建設（スキ―場跡地）

令和3年第4回定例会は、12月7日（火）から10日（金）までの4日間の会期で開かれました。音調津避難施設の設置及び管理に関する条例の制定や広尾町の休日定める条例等の一部改正、補正予算などが提案され、審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

<避難所の開設実績>

平成29年9月18日

大雨・暴風（台風18号）災害のため
音調津総合センターほか1施設 避難者は延べ46人

平成30年9月6日～9月7日

北海道胆振東部地震に伴う停電のため
コミュニティセンターほか3施設 避難者は延べ127人

災害時における住民等の生命及び身体の安全確保並びに音調津地区の地域防災力向上のため、災害発生時に避難住民等が一定期間過ごすことができるよう避難施設の設置及び管理に関する条例を制定しました。なお、本施設は12月16日に完成し、津波災害に対しての安全確保が図られています。今後、防災計画の改訂により避難場所の指定に追加される予定です。

<町内の避難場所 第一次避難所>

町内会名	名 称	町内会名	名 称
音調津	音調津総合センター	こぶしが丘・つつじヶ丘・丸山5丁目・桜が丘・丸山南7丁目・茂寄	広尾小学校
山フンベ	山フンベ集会所		
桜・上浜・入舟町	東地区集会所（たんぽぽ会館）	並木町・錦通・錦町・公園	青少年研修センター
	広尾町商工会館		ひろお保育園
中広尾・会所・防人・緑町・朝日・5～10丁目	コミュニティセンター	新生・野塚市街・野塚	旧野塚小学校
11～13丁目・北樺・駅前・栄町	老人福祉センター		野塚公民館
	広尾中学校	豊似市街・紋別・東豊似	豊似小学校
	広尾高校		農村環境改善センター

※このほか、第一次避難所の補完的な役割として、第二次避難所もあります。

補正予算

子育て世帯臨時特別給付金

4000万円

新型コロナウイルスが長期化する中、その影響を受ける高校生までの子育て世帯に、対象児童一人あたり一律5万円の臨時特別給付金を支給します。
(※12月15日に給付額を対象児童一人あたり一律10万円とする専決処分を行っています)

公共施設のLED化事業

総事業1億8266万円

役場庁舎・コミュニティセンターほか25施設の照明器具を令和4年度までにLEDに更新します。

問 冬期間の工事は、日照時間等の影響もあるのでは。

答 3月まで電灯や照明器具等の事前調査を実施し、4月以降に取替

工事をする計画である。

秋サケ定置漁業緊急支援対策事業補助金

684万円

赤潮被害による定置漁業者の経営健全化を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を一部充当し、緊急支援をします。

問 赤潮被害に対する、今後の支援は、色々な魚種があるため、状況を見て判断

したい。国の制度や補助金を活用するなど、広尾漁業協同組合と協議を重ねていく。

行政報告

令和4年度任用地域おこし協力隊募集

農業実習や営農作業の支援をする農村活性化推進員などの農林分野と体験型観光や食資源開発、特産品開発などを行う商工観光分野に、合わせて6名程度募集する。

公衆浴場の営業休止

老人福祉センター公衆浴場のボイラーが故障したため、11月30日から臨時休業している。なお、代替施設として、漁村環境改善総合センターの浴場を無料開放している。

土地の寄附

今後のまちづくりに生かすため、町民から市街地区(公園通南2丁目ほか、地目は原野等)の土地、計27928㎡の寄附を受けた。

令和3年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑫⑬⑭	76億9469万円	3444万円	増
港湾管理特別会計 ②	1億518万円	増減なし	※歳出の補正
簡易水道事業特別会計 ④	1億1097万円	39万円	減
下水道事業特別会計 ③	4億4747万円	109万円	増
国保事業勘定特別会計 ③	9億8531万円	52万円	増
介護保険特別会計 ③	7億2894万円	132万円	増
介護サービス事業特別会計 ③	2億7253万円	561万円	減
後期高齢者医療特別会計 ②	1億2206万円	263万円	減
病院事業債管理特別会計 ②	5422万円	90万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

その他決まったこと

- ◎総務省の「書面規制、押印、対面規制の見直し」をはじめ、第5次行政改革の取組として、行政手続きの簡素化・効率化を図るため押印の廃止を取り進めるにあたり、関係条例を改正しました。また、法令や国の通知による押印義務付けを除き、慣例的に求めている押印は原則廃止となります。(4月1日施行)
- ◎水洗化の促進を図るため、中広尾地区など4か所の公共下水道予定区域を公共下水道が整備されるまでの間、個別排水処理施設の整備区域等にする条例の改正をしました。
- ◎消防団員の処遇改善等の適正化を図るため、報酬額の改定や出勤に応じた報酬制度の創設等の条例を改正しました。
- ◎子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、保育に関する利用者負担額の無料の階層区分に、新たに里親である教育・保育給付認定保護者世帯などを加える改正をしました。
- ◎保育所等を利用する保護者の利便性向上や事業者等の業務負担軽減等を図る観点から、書面等の作成、保存等に関する基準が緩和されました。保護者へ書面等で説明を行うものなどは保護者の承諾を得て電磁的方法により提供できることとなり、諸記録の作成、保存等についても電磁的方法により対応可能となったため、関係条例を改正しました。

- ◎出産育児一時金の支給額を維持するため、関係条例を改正しました。
- ◎法の施行令等の改正に伴い、未就学児に係る国税の均等割額について5割を軽減し、低所得世帯は軽減後の均等割額をさらに5割軽減します。(令和4年度以降)
- ◎国や道など関係機関と業務を連動し、住民の生活や環境、医療、福祉の増進に資するため、年末年始の休日を改正しました。また、町が管理する施設の休館日等も改正しました。(4月1日施行) 現 行：12月31日～翌年1月5日

改正後：12月29日～翌年1月3日

- ◎広尾町が加入する十勝圏複合事務組合のごみ処理施設等の事務に、幕別町忠類地域を加える規約変更をしました。また、南十勝複合事務組合から幕別町(旧忠類村地域)が離脱するため規約を変更し、ごみ処理施設及び最終処分場等の経費負担は、広尾町と大樹町がそれぞれ50%の割合となります。なお、幕別町(旧忠類村地域)が離脱することに伴い財産の取扱い及び経費の負担方法等を定めしました。



次のページは
「意見書・議員の出欠」

意見書3件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

① 燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見書

提出者 浜野 隆議員

新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に停滞していた経済活動が回復期に入ったことから、原油需要の拡大など価格上昇が続いている。また、動力機械や施設ハウスに使用する燃料をはじめ、

各種生産資材や農業用施設も価格上昇が続いており、コロナ禍などの需要減退により農産物価格が低迷している中、生産者の農業経営を圧迫している。

一方、新規就農の支援事業は、来年度より「新規就農者育成総合対策」と名称が変わり、これまで全額国費負担で支援が行われてきたが、

ため、燃油等の価格高騰対策を講ずるよう、次のとおり要望する。

①農業用を使用する軽油は、価格上昇分を補填する対策を強化するなど価格高騰対策を講ずること。また、石油製品をはじめ各種生産資材や農業用施設などの価格が高騰していることから、農家負担の軽減を図る対策を講ずること。

②「新規就農者育成総合対策」の十分な予算確保。また、来年度からも引き続き国が全額財政負担すること。

② 地域交通・生活交通の維持・確保に係る支援に関する意見書

提出者 前崎 茂議員

地方負担に伴う事業内容となつている。また、地方自治体の財源によつて取組に差が生じることや十分な支援が受けられない就農者が発生する可能性もあるため、今後も国の全額負担が求められている。よつて、食料の安定供給と農業の持続的発展を図る

十勝管内では、多くの自治体で人口減少と少子高齢化が進み、地域住民の足となる地域交通・生活路線バスの役割は非常に大きくなつてはいるが、地域路線バスを維持するための「地域間幹線系統確保維持費補助金」は、平均乗車密度が低くなる

ほど補助金が削減されるため、地域住民の足を守るといふ趣旨に逆行する制度となつてはいる。

広尾町と帯広市を結ぶ「広尾線」は、近年の新型コロナウイルス感染症拡大による利用低迷も相まって平均乗車密度が4人以下で推移しており、国の基準値である5人を下回るため、補助金が上限額より2割以上減額されている。

また、補助金交付以外の赤字分は沿線自治体の走行距離に応じて負担するが、本町の負担額は年々増加しており、これ以上は自治体財政にとつて限界であるため、次のことを強く要望する。

①沿線市町村の負担軽減、路線バスの維持・確保を図るため、「地域間幹線系統確保維持費補助金」の現行補助対象経費の上限額を引き上げること。②平均乗車密度の基準値を下回ると減額される、「地域間幹線系統確保維持費補助金」の減額措置を撤廃すること。

③ 地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

北海道では、定期的に実施されている海洋観測モニタリングのデータやブリ、マンボウなど南方系魚種の回遊が多く見られていることから、海水温の上昇が漁業に大きく影響を及ぼしているものと推察される。サケ、サシマ等が減少するなど被害は年々増えているため、地球温暖化・海水温上昇の原因究明が急務となつている。

北海道を代表する秋サケも不漁が続いている状況は、漁業従事者だけでなく関連する水産加工業者への影響も含め、地域経済に大きなダメージを与えており、地域の衰退を招きかねない。

に、来年以降の漁に大きな不安を抱えているため、次の措置を早急に講ずるよう強く要望する。

①カーボンニュートラルの着実な実現。
②海水温上昇に伴う水産漁業等被害の実態調査の実施。
③長期的な水産振興策の策定・支援。
④赤潮被害対策と漁業及び地域支援。
⑤コロナ禍の飲食店自主規制により魚佃安のダメージを受けている水産漁業関連、地域経済へ緊急の経済支援策の実施。

提出先

内閣総理大臣へ①②③、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、国土交通大臣へ①②、財務大臣、農林水産大臣へ①③、北海道知事へ②、内閣官房長官、厚生労働大臣、環境大臣へ③



農業経営の持続にも大きな影響が

令和3年 第4回定例会 議案審議結果

●第4回定例会では、賛否のあった議案はありませんでした。(全て全会一致)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和3年9月定例会終了後～令和3年12月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

			議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			議 員 名		松田	浜野	萬亀山ちず子	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺富久馬	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容				健司	隆	茂	利通	國昭	廣保	照夫	富久馬	雅二	恵子	勝	成郎	
10/5	第6回臨時会（補正予算）				○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
11/29	第7回臨時会（補正予算）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12/7	第4回定例会（条例制定・改正など）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12/9	第4回定例会（一般質問）				○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
12/10	第4回定例会（補正予算、意見書など）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
開催日数計		5 日		出席日数計		5	5	5	5	4	5	5	5	5	4	5	5

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議 員 名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
10/21	第4回総務常任委員会		○	－	－	－	○	○	○	－	－	○	○	－	○
10/26	産業常任委員会行政視察（土幌町ほか）		－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
11/9	議会広報編集会議		○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－
11/16	第4回議会広報特別委員会		○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○
12/3	第6回議会運営委員会		－	－	－	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○
12/9	第7回議会運営委員会		－	－	－	○	×	○	○	○	○	－	－	○	○
12/10	議会広報編集会議		○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－

※正副議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

また、副議長の浜頭議員は、議会運営委員会に所属していませんが、出席した場合は「○」と表しています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議 員 名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
10/5	第11回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
10/18	南十勝町村議会議員研修会		○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○
10/18	議長・副議長・委員長会議		－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	○	○	○
11/5	第12回議員協議会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
12/7	第13回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



次のページは「一般質問」
『商品券・3回目ワクチン・赤潮被害支援』

ズバリ 町政を問う — 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長などに執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることです。
 広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。
 12月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。
 ※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。



各議員の一般質問は
録画中継にて
ご覧いただけます。



小田議員・前崎議員・松田議員
の一般質問はこちらから

旗手議員の一般質問は
こちらから



●一般質問 項目一覧

小田雅二議員	プレミアム付商品券は整理券で	P 6
	3回目ワクチン接種、副反応への対応は	P 7
前崎 茂議員	赤潮被害に中長期的な支援を	
	特養の待機者減少への方策は	P 8

松田健司議員	戦略的な情報発信の強化を	P 8
	いじめの実態と対応は	P 9
旗手恵子議員	気候危機から暮らしを守るために	

プレミアム付商品券は整理券で

町長 販売方法を協議し対策を行う



おだ 小田雅二 議員



混雑を避けるための工夫を

質問 10月17日に発売された地域振興プレミアム付商品券は午後2時に完売となり、販売方法や手続きについて町民から多くの苦情があったと聞くが、その状況は。他の自治体では、希望者全員に販売できるようあらかじめ全世帯に整理券を送付しているところも多く、残った場合は後日抽選等を行うことで、朝並ぶ必要もなく混雑を避けることが可能である。町の本来の目的と町民の公平感を維持するためにも、一定のルールを築いていくことが必要ではないか。

答弁 村瀬町長

商工会が発売した今年度第2弾となるプレミアム付商品券は、プレミアム率50%を補助したものであり、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら販売を行った。

販売開始2時間前の8時頃から人が並び始め、最大2時間待ちの列となったが、手続き開始後の購入時間は数分であった。また、午後3時半頃には完売する人数に達したため、それ以降に来られた約10名の方には購入できない旨を伝え、午後5時に販売を終了した後、防

災無線で完売の情報を周知した。

過去に実施した経験を基に行ったが、予想を超える購入希望者となり町民の皆様にご迷惑をおかけした。今後はご不便をおかけしないよう販売方法等を協議し、対策を講じていく。

3回目ワクチン接種、副反応への対応は

町長 安心して接種ができるよう情報提供を行う



「効果」と「リスク」の情報提供が重要

質問 前回の一般質問では、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応の調査や記録はしていないとのことだったが、今回予定されている3回目の追加接種で副反応が現れた場合も、記録等は行わないのか。

宮城県では、健康被害救済制度に基づいた死亡一時金や医療費等の申請が30件を超え、窓口となる市町村には、合計で110件以上の問い合わせがあったと報道された。今後は、本町でも一定の記録や確認が必要になると思うが。

答弁 村瀬町長 追加接種でファイザー社ワクチンを用いる安全性は、初回免疫時と概ね同様であると示されたことから、追加接種後の副反応は2回目接種後と同程度と見られている。

副反応に関する情報は、国の公表データを広報紙やウェブサイトに掲載し、接種券の発送時にはチラシを同封して周知する。また、接種会場では、初回接種で現れた症状や追加接種後に想定される副反応について確認するほか、接種後には対処方法等の情報提供を行う。

なお、接種により健康被害が生じた場合は健康被害救済制度により迅速に対応するが、接種は強制ではなく、効果とリスクを理解のうえ自らの意思で受けていただくため、しっかりと情報提供を行っていく。



まえはら 茂 議員

質問

道東沿岸では、9月後半から赤潮が発生し、漁業被害額は80億円を超える。

本町のウニ被害は100トン超で2億3000万円と算出され、ツブヤタコ、ホッキ、モガニの漁獲量減少や昆布の変色等で、来年度以降の漁獲が危惧されている。

資源回復には数年を要するため中長期的な支援が必要とされる中、浦幌町、豊頃町では各1000万円、大樹町では890万円の漁業支援を決めたが、本町の支援体制は、また、大樹町は漁業者支援に充てるため、ふるさと納税を始めたが、本町は、加えて、漁業収入の減少による町税等の減免についての周知方法は、

赤潮被害に

中長期的な支援を

町長

関係団体と連携し

要望を続けていく

答弁 村瀬町長

今回の大規模な赤潮被害は過去に例がなく、様々な魚種に影響が出ており、個々の漁業者の経営努力や一町村だけでは解決が難しいため、関係町村や他団体と連携しながら国や道へ要望を行っている。本町では直接的な所得補償を行わないが、当面の資金繰りを支援するため、漁業者や水産加工業者へ利子補給等の支援策を行う。

また、国保税は収入の減少率が70%以上でなければ全額減免にはならない。現在の制度と照らし合わせ周知は難しいが、該当者には情報提供を行っていく。



水産物に深刻な影響が

特養の待機者減少への方策は

町長 職員数確保・制度周知に努める

質問

本町の特別養護老人ホームの入所定員は50人であるが、平成30年度の入所者は43人、令和元年度は42人、令和2年度は44人、本年11月末現在では45人となっております。5人から8人が入所定員より少なくなっている。介護職員の待遇改善等により職員の充足を図り、入所定員に近づけることで待機者を減少させる必要があるのでは。また、国の制度では、自宅やグループホーム等において、障がいが著しく重い方を介護する人に対し「特別障害者手当」が支給されるが、その周知方法は。

答弁

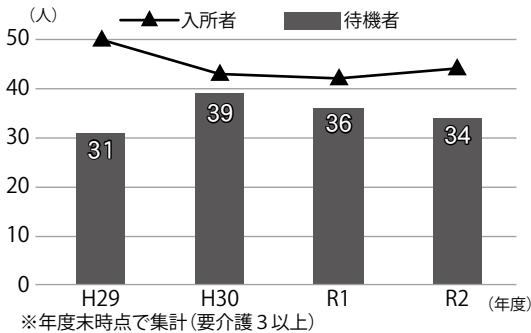
村瀬町長

現在の特別養護老人ホームの入所者は、12月の入所予定者を含めて46人で待機者は33人となっております。様々な事情により順番が来てもすぐに入所できるケースは少ない状況である。

令和2年度から導入された会計年度任用職員制度により介護職員の待遇改善を図つてきたが、職員数は現在も充足していない状況であるため、引き続き職員確保に努めていく。

また、特別障害者手当については広報紙やウェブサイトなどで制度の内容等を周知しているが、制度を知らない人も多い現状がある。日常的に介護している家族を支援する制度でもあるため、今後も周知を継続しながら受けにつなげていきたい。

特養入所者数と待機者数の推移



まつだ 松田健司 議員

戦略的な情報発信の強化を

町長

各産業分野の協力を横断して検討

質問

情報通信技術を活用した業務の効率化や第6次まちづくり推進総合計画に沿った戦略的な情報発信を強化するためには、地域おこし協力隊等を中心とした様々な知見を持つチーム編成での情報発信やICTの構築に取り組むべきと思うが、町長の考えは。

答弁

村瀬町長

現在、未整備地区における光ファイバ回線網の整備を進めており、今年度中に町内全域へ整備が完了する見込みである。

第6次まちづくり推進総合計画では、ICTを活用したまちづくりについて記載しており、導入には外部の専門人材や各産業分野の協力が必要となるため、ICTを活用しながら各分野の課題解決に総合的に取り組むことができるよう、分野を横断して検討していき

また、来年には日高山脈襟裳国定公園が国立公園化の予定であるが、町内でのアウトドア観光の発展や貴重な自然環境の保全・利活用に向けて、外部人材の活用や町内人材の発掘・育成が必要と思うが。

また、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化は、自然生物体系の保護や観光面での活用が重要であると位置付けられているため、襟裳岬へ行く動線で本町に立ち寄ってもらえるような情報発信にも力を入れていきたい。



公共施設にも無線LANの整備が進む

いじめの実態と対応は

教育長

各学校で実態調査を実施
現在は確認されていない

質問

全国の教育機関
で多発するいじ

めにより、最近では自死等の重大事案が問題となっているが、本町においてこのような事案が発生した際の最終的な責任の所在と、いじめと疑われる報告はあるかを伺う。

報道では、いじめに遭っている児童生徒や保護者の中には、学校の教職員を信用できずに孤立し、声を上げられないような状況も報告されている。いじめが発生するかもしれないという視点に立ち、いじめを未然に防ぐための対策が必要と思うが。

答弁

菅原教育長

いじめが発生した際の責任の所在は事案によって異なるが、最終的な判断は教育委員会が行う。

本町では、平成26年にいじめ防止基本方針を策定し、町全体でいじめ根絶に向けた取組を進めている。各学校では、

年2回の実態調査や児童生徒の心理状況等を把握するため、Q・Uテストを実施している。調査の結果を受けたところ、いじめと疑われる事案はなかった。

日頃から、児童生徒の小さなサインも見逃すことの



周囲に相談しやすい体制をつくるためには

はたて
旗手恵子 議員

気候危機から暮らしを守るために

町長

※
脱炭素社会に向け方策を検討

質問

新型コロナウイルス感染症拡大の要因の一つには、地球温暖化があると言われている。

※国連IPCCは「人間の影響が地球を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と断定し、破局的な気候変動を回避するためには、2030年までに大気中の温室効果ガスを2010年比45%削減、2050年までに実質ゼロを達成しなければならぬ」と強調した。

本町も再生可能エネルギー対策の推進を掲げているが、具体的な取組は、また、ゼロカーボンシティ宣言をすべきでは。

答弁

村瀬町長

第6次まちづくり推進総合計画では、産業分野における再生可能エネルギーの有効活用や省エネルギーの取組推進などを掲げている。まずは本町のエネルギー資源を把握する必要があるため、調査を行い活用方法を検討する。

省エネルギーについては、公共施設から率先して進めていき、町内の事業所や家庭にも取組の輪を広げることで、町ぐるみでゼロカーボン行動に取り組んでいきたい。

また、ゼロカーボンシティ宣言は、他町村と連携し情報収集をしながら検討していく。

今後は、北海道が行う新エネルギーコーディネーター支援事業を活用し、町内のエネルギー資源量を把握した上で、脱炭素社会に向けた対策を検討していきたい。



脱炭素社会の実現に向けて

※脱炭素社会

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量ゼロを実現する社会のこと

※国連IPCC（気候変動に関する政府間パネル）

国際的な専門家で行く、地球温暖化の科学的な研究・収集・整理をする機構

※ゼロカーボンシティ宣言

再生可能エネルギーによって稼働する都市を宣言すること

次のページは「臨時会」

令和3年 第7回 臨時会 11/29

キ貝、エゾバイツブ等の
前浜水産資源の生息調査
を実施します。

赤潮被害漁業利子補給 12万円

漁業経営の安定化と漁
業の継続を図るため、赤
潮の影響を受けた漁業者
の負担軽減を行います。

行政報告

赤潮被害の対策

浅海域試験効果調査事
業の内容を見直し、赤潮
被害に関するウニ、ホッ

赤潮被害調査
300万円

令和3年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑨⑩⑪	76億6025万円	277万円	増
----------	-----------	-------	---

※会計名の後の丸数字は補正回数 (1万円未満切り捨て)

赤潮は未だ収束の兆し
が見られず、ウニの被害
数量は108トン、被害
総額は2億3000万円
のほか、秋サケやシシャ
モの水揚げが極端に不振
となっている。今後、毛
ガニやツブ、ホッキなど
への影響が懸念されてい
るため、緊急的な取組・
支援を次のとおり行う。
①漁業への支援は「赤潮
被害対策漁業支援資金
利子補給」。
②水産加工等事業者への
支援は「中小企業金融
支援対策」。

火災の発生

令和3年11月10日に字
紋別で建物火災が発生。
消防職員、団員合わせて
23名、車両7台が出勤し
た。この火災による死傷
者はいない。

新型コロナワクチン の追加接種(3回目)

国の対応方針が示され
たため、2回目のワクチ
ン接種完了から原則8か
月経過した18歳以上の方
を対象に、令和4年1月
からワクチン接種ができ
るよう準備を進めており、
各医療機関の個別接種と
国保病院などを会場とし
た集団接種を予定してい
る。追加接種の予約は、65
歳以上の高齢者は接種日
を指定する。その他は、
オンラインの予約システ
ムを導入するなど、電話
を掛けずに済むよう配慮し
予約時の混雑解消のため
順次接種券を送付する。
なお、11月25日現在、
対象者6023人のうち
5405人が1回目を接

新型コロナ経済対策

種し、接種率は89・7%。
2回目の接種完了者は
5369人で89・1%。

10月5日開催の第6回
臨時会において、緊急支
援が決定した経済対策の
状況は次のとおり。

新型コロナ経済対策状況 (11月10日現在)

事業名	給付事業者	給付金
中小企業緊急経営支援事業給付金	全体 94	26,506,000円
	うち飲食業 26	10,565,000円
	うち小売業 30	8,174,000円
イベント中止に伴う事業者緊急支援事業給付金 「十勝港海上花火大会」、「毛がにまつり」	11 (延べ17件)	1,700,000円

※12月10日までに事業完了・給付予定

令和4年 第1回 臨時会 1/31

計が急変した世帯を対象
に、臨時特別給付金を一
世帯あたり一律10万円支
給します。

漁業振興持続化給付金 1500万円

令和4年第1回臨時会
が1月31日に開かれ、専
決処分承認、工事請負
契約、補正予算の議案6
件を審議。原案のとおり
承認・可決し、閉会しま
した。

新型コロナ支援策

新型コロナウイルスの
影響により、家計が急変
した世帯や住民税非課税
世帯に対する支援及び外
食産業の営業自粛に伴う
価格と流通の減により、
売り上げが減少した事業
者等に対し、事業の継続と
雇用確保を図るための支
援を次のとおり行います。

住民税非課税世帯等 臨時特別給付金 1億2000万円

住民税非課税世帯や家

水産加工等事業者緊急支援 510万円

町内の水産加工等事業
者に対し、給付金を支給
します。

給付対象事業者は決め
られた条件を満たす者等
で、給付額は売上減少額

の30万円が上限となります。申請期限は2月28日までです。

牛乳・乳製品の消費拡大 100万円

コロナ禍により需要が低迷している牛乳・乳製品の消費拡大緊急支援事業として、広尾町農政推進協議会に負担金を支出します。

問 事業の概要と経費の内訳は。

答 町内の小・中学校及び高校の児童生徒に、バターとチーズの詰め合わせ約500セットを贈呈する購入費や産業団体へ来客用の牛乳、民間福祉施設等へ牛乳・乳製品の購入費である。

問 消費拡大に向けたメッセージを添えると身近に感じてもらえるのでは。また、生乳の再生産を持続可能にし、生産基盤の弱体化を防ぐための対策は。

答 生産者団体である農業協同組合などと情報共有し、取り組んでいきたい。また、需要喚起策・消費拡大策など酪農経済の活性化に向けた対策を、関係団体と連携し対応していきたい。

赤潮被害対策

環境・生態系保全の緊急対策
379万円

報を共有し、取り組んでいきたい。また、需要喚起策・消費拡大策など酪農経済の活性化に向けた対策を、関係団体と連携し対応していきたい。

ウニの種苗放流や放流する前の実態把握及び放流後の状況を調査するため、北海道水産多面的機能発揮対策協議会に、総事業費の15%を町負担分として交付する。なお、赤潮対策緊急事業として活動が認められた場合、ウニ増殖対策事業の補助金は払戻しされる予定。

問 十勝管内では、赤潮被害に対する支援を行う町もあるが、漁業者を含めた本町の支援は。

答 国の赤潮対策事業を基本的には活用するが、11月の臨時会で報告した赤潮被害調査や赤潮被害漁業利子補給を行っている。また、本町の水産業を持続するため、漁業協同組合に対し持続化給付金を給付することで、漁業者への支援に繋がることができればと考える。

行政報告

職員の
新型コロナ発症

1月5日に広尾消防署員1人の新型コロナウィルスの陽性が確認され、医療機関に入院した。

赤潮被害の対策

1月20日現在の支援状況は、赤潮被害対策漁業支援資金利子補給では11件の利用があり、借入額は1352万円である。また、水産加工等事業者に対する中小企業金融支援対策の利子補給では4件の利用があり、借入額は2350万円である。

新型コロナ経済対策

1月20日現在の経済対策の状況は次のとおり。

新型コロナ経済対策状況（1月20日現在）

事業名	販売枚数	利用枚数	利用率	交付事業者	交付額
地域振興プレミアム付商品券（第1弾）＊1	224,000枚	223,603枚	99.8%	107	111,801,500円
地域振興プレミアム付商品券（第2弾）＊2	180,000枚	175,401枚	97.4%	102	87,700,500円
地域振興夜の街プレミアム付商品券＊3	2,856枚	2,083枚	72.9%	8	2,083,000円
中小企業等キャッシュレス化導入推進事業	利用回数 4,525件	利用額 19,425,334円			30%還元額 4,661,442円

※プレミアム率 ＊1は40%、＊2は50%、＊3は100%

普通交付税の追加

令和3年度普通交付税の追加交付額は、1億1703万7000円で、総額は34億5620万7000円となり、前年度と比べて2億6409万8000円、8・3%の増となった。

教育行政報告

学校職員の
新型コロナ発症

1月28日に豊似小学校職員1人の新型コロナウィルスの陽性が確認され、自宅療養をしている。学校では、校舎の消毒を実施し、2月2日まで臨時休校とした。また、1月30日に広尾小学校と広尾中学校から新型コロナウイルスの濃厚接触者の連絡があり、校舎の消毒作業を行うため1月31日のみ臨時休校とした。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業

事業内容	充当額
新型コロナウイルス検査費用一部助成	1,223,000円
牛乳・乳製品利用促進事業（農政推進協議会負担金）	1,000,000円
漁業振興持続化給付金	15,000,000円
水産加工等事業者緊急支援事業	5,100,000円
公立学校情報機器整備事業（小・中学校）	1,347,000円
学校保健特別対策事業（小・中学校）	2,698,000円

令和3年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑮⑯⑰⑱	80億257万円	3億787万円	増
介護サービス事業特別会計 ④	2億7071万円	182万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数（1万円未満切り捨て）



次のページは
「モニター会議」「常任委員会」

町民の意見を 議会運営に反映

1/20

議会モニター会議を開催

議会モニター5人、議員全員（13人）が出席し、意見交換（当日欠席したモニターからの意見含む）をしました。

※意見は抜粋して掲載しています。



小柳 議会中継で、広尾高校存続の発言があった。町は、助成金など支援を継続しているが、効果はあるのか。また、若者が住みやすく、この町に住んで良かったと思える町にするために、町民の意識改革に向けた取組が必要では。

議会 高校生と交流する中で、生徒はまちづくりに真剣に考えている。地元の高校存続に向け、後押ししていかねければならないと思う。

小柳 広尾高校に進学する生徒が多い。町の魅力が子どもや保護者に浸透せず、アピール不足と感じるため、一人でも多く地元に残ってもらえるような取組が必要である。各家庭で将来のビジョンや考え方があ

議会 大樹町では、宇宙産業等で町外からの移住者も多く、活性化の機運がある。また、生活圏などの問題は、執行側の町職員を含めた懇談会等で一つのテーマについて話し合うことで、役場

思う。その中で広尾高校を目指してもらえかが重要であり、広尾高校から希望する進路が叶うことを町外も含め、小学校や中学校にアピールをしていかなければいけない。議会報告会や議会懇談会で高校存続についてのテーマで意見を交わすことが、まちづくりに直結すると思う。

会川 高校が廃止された町では、高校生が街を歩いていないので寂しいと感じた。町民一人一人が最悪の事態を想像し、トライ＆エラーで良いので、まずやれることをやる必要がある。

議会 大樹高校は募集人員を増やし、本別高校は半減した。双方の情報収集に努めなくてはいいない。

菊地 大樹町では、宇宙産業等で町外からの移住者も多く、活性化の機運がある。また、生活圏などの問題は、執行側の町職員を含めた懇談会等で一つのテーマについて話し合うことで、役場

議会 大樹町では、宇宙産業等で町外からの移住者も多く、活性化の機運がある。また、生活圏などの問題は、執行側の町職員を含めた懇談会等で一つのテーマについて話し合うことで、役場

（行政）や議会、町民の役割が見えてくると思う。地元への進学を増やすためには、広尾高校から就職や進学もできるという将来への道筋のアナウンスに一層取り組む必要がある。

岩田 高校の存続以前に、少子化や人口減少等で町の存続も危ぶまれる。魅力あるまちづくりのためにも、町民が地域に貢献できるような環境整備に取り組んでほしい。

議会 高校存続や人口減少問題は、子どもの出生数である。町では広尾高校サポートプランとして、通学費や下宿費等の補助、学校給食の提供など行っているが、どの町でも取り組んでいる。今後も高校存続に向けて、町独自の政策を行うため、行政・議会を含めて取り組んでいきたい。

菊地 今後の道の駅の開設に向けた考えは。第6次広尾町まちづくり推進総合計画で

議会 今後の道の駅の開設に向けた考えは。第6次広尾町まちづくり推進総合計画で

観光交流施設（道の駅機能）事業が掲載されており、広尾町ではどのような生かせるかを視察した。開設するために、数年に渡って会議を重ねており、本町では、漁業やサンタランドなど広尾らしい道の駅構想が良いと感じた。※P14～P15に関連記事

会川 モニターの意見書で、町の環境整備や産業道路の壁面など意見があり様々な課題がある。役場のルールはあると思うが、将来に向けて町民が幸せに暮らせるようなまちづくり、きれいなまちづくりや魅力づくりのため、今後も議会の在り方を意識しながら進めてほしい。

大庭 楽しい町にするために、町民自身の考え方を変えていく必要がある。コロナ禍ではあるが、少人数でも人の交流を増やし、町を活気づけるために小さいことから変えていければいい。

議会 以前の会議でのワークシヨップは、コロナ禍で大勢が集まるのは難しいが、実現に向けて協議していく。

議会 以前の会議でのワークシヨップは、コロナ

議会モニター募集

平成27年度から議会改革の一環として議会・議員の活動や議会運営などについてご意見をいただく「議会モニター」制度を導入しています。

現在、10名の方に委嘱していますが、より広く町民の皆様からご意見をいただくため、追加募集します。

◇対象：議会運営や町政に関心のある満18歳以上の町民

◇募集人員：2名

※詳しくは、議会事務局（☎2-0180）までお問い合わせください。



※議会モニター

議会・議員の活動や議会運営などについて町民からの意見をいただくため、委嘱しています。現在のモニターは10人（会川英二さん、大庭ひとみさん、菊地亜希さん、上野雅彦さん、宮原こゆきさん、小柳ありさん、鈴木珠世さん、柳信也さん、頼田光明さん、岩田達與さん）で、任期は令和5年5月までです。（2年間）

総務常任委員会

出席委員：委員長 旗手恵子・副委員長 北藤利通
松田健司・志村國昭・星加廣保・小田雅二

調査日：令和3年10月21日

見た！
聞いた！

考えた！



常任委員会所管事務調査

～GIGAスクールの現状と課題～



GIGAスクールの実現へ

※GIGAスクール構想

新たな未来社会を生きる子どもたちにとって、ICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、学校の整備は遅れており自治体間の格差も大きい。そのため、全国的にICT環境整備が急務である。

- 広尾小学校
屋内全域に校内LAN環境を整備。22台収納可能なタブレット収納保管庫を12台整備。
- 豊似小学校
屋内ほぼ全域に校内LAN環境を整備。22台収納可能なタブレット収納保管庫を2台整備。
- 広尾中学校
屋内全域に校内LAN環境を整備。44台収納可能なタブレット収納保管庫を6台整備。

学校のICT環境

オンライン学習

臨時休業または休校になった場合は、オンライン学習の活用も可能であるが、小学1年生や特別支援学級でのオンライン学習や複数学級の同時接続が困難であるなど課題もある。

1人1台端末

学校基本調査の児童生徒数に基づき、各小・中学校の児童生徒が使用するタブレット端末を合計で419台整備した。1人1台端末の利活用により、授業でのインターネット等を利用した調べ学習や写真・音声等を用いた資料・作品の制作、遠隔教育や情報モラル教育等の学習が可能となる。

今後の課題

今後は、教職員のICTスキルの向上やICTを活用した授業改善をはじめ、情報活用能力の育成や情報モラル教育の充実、特別支援学級児童用のソフトや周辺機器の充実等が求められる。また、児童生徒が家庭へタブレット端末を持ち帰る場合もあるため、正しい使い方の徹底を図る必要がある。

1人1台端末の利活用状況

学 校 名	利活用状況	利活用内容
広尾小学校	1年生：操作練習 2～6年生：各教科で利活用	漢字筆順、ネット検索、プレゼンテーション、動画撮影・視聴、課題提出 など
豊似小学校	全学年：各教科で利活用	写真撮影・加工、ファイル共有・通信、動画視聴、調べ学習 など
広尾中学校	全学年：各教科で利活用	ネット検索、レポート作成、プレゼンテーション、リズムトレーニング など

- | | | | |
|---|---------------------|---|--|
| 問 | 自宅に端末を持ち帰る児童生徒の割合は、 | 答 | 小学校は希望者のみ、中学校は夏季休業期間に全家庭が持ち帰った。 |
| 問 | 家庭で端末を使用する際の啓発は、 | 答 | プリントを配布しているが使用時間の制限はできないため、家庭でのルール決めが必要。 |
| 問 | 通信環境がない家庭への支援は、 | 答 | モバイル・ルーターの貸出しを行っている。 |

次のページも「常任委員会」

※GIGA（ギガ）スクール構想
義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画のこと

所管事務調査

と「地場産品」の情報発信～



in 士幌町

in 上士幌町



道の駅「びあ21しほろ」農産物販売コーナー

「農」と「食」で情報発信／士幌町

道の駅「びあ21しほろ」

■設置目的と背景

旧道の駅の老朽化・敷地の狭小等の課題と併せて、平成24年12月に国道274号の新ルートが開通したことに伴い、国道241号との交差点で「にぎわい創出」の機運が高まったため、移転リニューアルを計画した。

また、観光資源が乏しく通過型のまちとなっており、6次産業化の取組

を後押しするための販売施設の不足や発信力の低さも課題となっていた。

そのため、基幹産業である「農」と「食」を核とした街中商店街や観光地への情報発信が可能であり、国道往来者への休憩施設と併せて、防災機能や交通情報など道路機能の向上や更なる振興・発展に役立てることを目的に、新道の駅を設置した。

■施設の概要

平成28年6月から建設工事を開始し、翌年3月に延べ床面積853・44㎡、木造一部2階建の道の駅「びあ21しほろ」が完成。同年4月にオープンした。町の景観に馴染む建造物とするため多くの木材を用いている。総事業費は7億3833万5000円である。

■管理運営体制

運営形態は公設民営方式であり、指定管理者である士幌町商工会が運営管理する。地場産品販売施設や飲食・軽食提供施設の収益部門は第三者に貸与し、運営を行う。

■入込状況と物販の売上げ

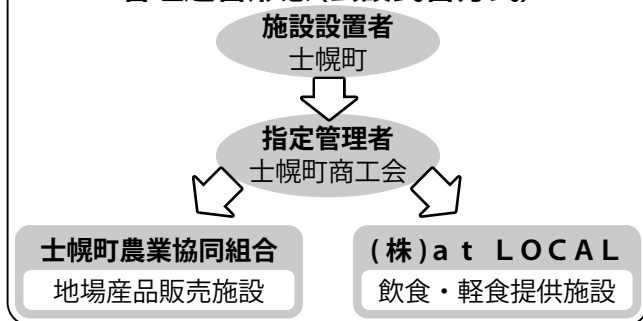
道の駅の入込状況は、オープンから5年間で年間31万人から45万人で推移しており、地場産品等の売上げは、オープンから4年間で年間1億2000万円から1億5000万円程度で推移している。

問

答

開設に至るまでの関係団体等との協議は、平成24年度に検討委員会を設置し、計6回協議を行った。その間、検討委員会の下部組織であるワーキングチームによる道外視察や懇話会形式での打合せ等を実施した。

管理運営形態(公設民営方式)



問

答

町の負担と経済効果のバランスは、指定管理者に毎年度支払う指定管理委託料は2050万円程度であり負担はあるが、地域のにぎわい創出が図られている。

問

答

町内外の集客増に向けて重視することは、関係機関の努力と町民の応援が大きい。また、3つのコンセプトを策定し、町民と共につくりあげるといった想いを意識して運営している。

視察を終えて 委員のひとこと

渡辺委員長

オープン3年目で入込100万人を突破しており、行政だけではなく民間事業者の知恵・活力・協力が必要と感じた。本町の第6次まちづくり推進総合計画に搭載されている観光交流施設(道の駅機能)事業においても、議員として当事者の観点で取り組んでいきたい。

浜野副委員長

今回の視察では、開設の目的を明確にさせることや町の特色を生かすことを学んだ。本町でも参考にしていきたい。

萬亀山委員

地域住民や地元の高校生、生産者が野菜や加工品の販売に参加するなど、イベントを開催して多くの観光客を呼び込んでおり、交流促進につながっている。住民からの要望等を生かして地域連携を図ることが大切と感じた。

※公設民営方式

国や地方公共団体が施設を設置し、運営を民間の事業者へ委託すること

※指定管理者

地方公共団体が公の施設管理を行わせるために、期間を定めて指定する団体のこと

産業常任委員会

出席委員：委員長 渡辺富久馬・副委員長 浜野 隆
萬亀山ちず子・前崎 茂・山谷照夫・浜頭 勝

調査日：令和3年10月26日

都市と農村の交流拠点づくり／上士幌町



令和2年6月にオープンした道の駅「かみしほろ」を視察

常任委員会

～「道の駅」の開設経緯

道の駅「かみしほろ」

■設置目的と背景

観光拠点の核として、観光客の周遊化や商店街への誘引等の役割を果たすとともに、地場産品の販売により地域産業の振興を図ることを目的に設置した。

平成27年には、北海道開発局長より重点「道の

駅」の候補に選定されており、その後、基本計画や設計、建設工事を進め、令和2年にオープンした。

■施設の概要

平成28年度に基本計画を策定し、令和元年度に建設工事を行った。令和2年3月には、延べ床面積1548・64㎡、鉄骨造地上1階建の道の駅「かみしほろ」が完成。同年6月にオープンした。

総事業費は11億5658万4000円である。

■管理運営体制

運営形態は公設民営方式であり、指定管理者である上士幌町観光地域商社「株式会社K arch(カーチ)」が運営管理する。

■入込状況と物販の売上げ

道の駅の入込状況は、オープンから約9か月で4万3000人ほどであり、地場産品等の売上げは、1億3000万円程度となっている。また、町指定管理料は2800万円だが、3年目には半分、5年後にはゼロにする予定とのことだった。

問 町の特色をどのように生かすか。

答 道の駅のコンセプトを明確にさせ、町の個性を生かした施設となるようあらゆる角度から協議することが必要である。



問 他町村の道の駅との関連において、人流や運営にどのような影響があるか。

答 隣町である上士幌町でも道の駅を開設しており、観光客を呼び込む観点から相乗効果が生まれている。上士幌町に来た観光客を上士幌町に呼び込む等、オール十勝の意識で迎えらるよう連携することが重要である。

視察を終えて 委員のひとこと

前崎委員

オープンしてからの集客数は44万人超と順調で、物販の売上げも集客数に連動している。ナイトタイムの改築により、観光客の増加や交流人口の継続等が期待できるが、今後も40万人前後の集客が確保できるかが分岐点になると思う。

山谷委員

各スペースは広くゆとりしており、ホテル感覚の新スポットと言える。施設フロアや販売する商品等を視察し、本町の政策にどのように反映できるか今後の議員活動で研究していきたいと思った。

浜頭委員

町によって施設の外観をはじめコンセプトや運営方法等が異なり、有意義な視察であった。本町での開設には財政状況を含め課題も多いが、学んだことを生かしていきたい。

議員活動の自己評価

5つの項目を
4段階で評価しました

- ① 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会など）や研修の出席
- ② 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会）での発言
- ③ 議会、委員会で実施した研修（視察）や講演動画等の活用
- ④ 議会モニター会議など、議会改革の取り組み
- ⑤ 個々の議員活動全般

※ 議員活動の抱負

広尾町議会基本条例では、「議会は町民に対し、議員の活動を的確に評価ができる情報を提供する。」と定めています。

議員個人が1年間どう考え、どう活動したかについて自己評価を行い、その結果を広く町民に知らせることは、町民が議会、議員に対し、的確な評価を下す大きな材料となり、議会の透明化を目指す上での一つの手段になると考えます。

そのことから、令和3年の活動について、「議員個人の活動にかかる自己評価」を実施しましたので、結果をお知らせします。

※年齢、所属委員会は2月末日現在

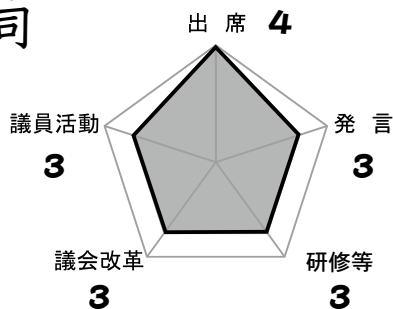
《各項目の評価基準は以下のとおりです》

まつだ けんじ
松田 健司



52歳

当選1回



- ・総務常任委員
- ・議会広報特別委員

研修等	研修は全て参加し、レポートも提出できた
議会改革	住民福祉の向上に向け、コロナ対策や水害対策の提言をした
議員活動	日頃の議員活動の中で、町民の意見を役場（行政）に届けた
議員活動の抱負	コロナ禍の中、目まぐるしく変わる価値観や多様性に対応しながら、アフターコロナを見据えた提言を積極的に行っていきたい

出席

- ・会議や研修の出席状況はどうだったか。
- ・正当な理由がない欠席はなかったか。

発言

- ・一般質問、審議・審査の質疑、討論などで自分の考え、意見を発言したか。
- ・発言の論点ははっきりしていたか。また、簡潔明瞭な発言だったか。

研修等

- ・明確な目的をもって参加したか。
- ・研修や講演動画等で得たことを、その後の活動に生かしたか。

議会改革

- ・コロナ禍のため議会報告会、議会懇談会を開催していないが、住民福祉の向上や町民に開かれた議会を目指した取り組みを行ったか。

議員活動

- ・町民の意見を広く把握し、町政の課題への確に反映させたか。
- ・報告事項や提出書類を期限内に報告・提出できたか。

評価は4段階

- 4－よくできた
- 3－概ねできた
- 2－あまりできなかった
- 1－できなかった

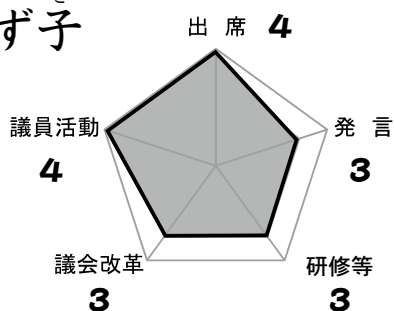
まきやま
萬亀山ちず子



72歳

当選2回

- ・産業常任委員
- ・議会広報特別委員長



発言	簡潔な発言に努めた
研修等	視察は有意義であり、議員活動の励みにもなるため、今後に生かしていきたい
議会改革	真摯に取り組み、今後に生かす
議員活動の抱負	コロナ禍の中、議員活動は困難であったが、町民の意見が町政に反映されるよう努める

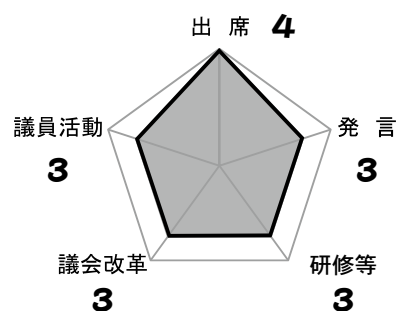
はまの たかし
浜野 隆



68歳

当選2回

- ・産業常任副委員長
- ・議会広報特別委員



研修等	視察研修を今後に生かしたい
議会改革	概ねできた
議員活動	提出書類に遅れがあった
議員活動の抱負	本年も町民の声を聞き活動していきたい

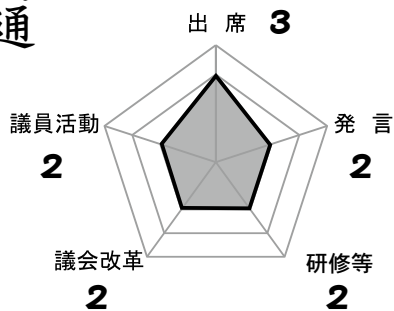
きたふじ としみち
北藤 利通



69歳

当選3回

- ・総務常任副委員長
- ・議会運営委員
- ・南十勝複合事務組合議会議員



発言	あまりできなかった
研修等	コロナ禍のため出席しなかった
議会改革	コロナ禍のためできなかった
議員活動の抱負	昨年と同様に議員活動をしていく

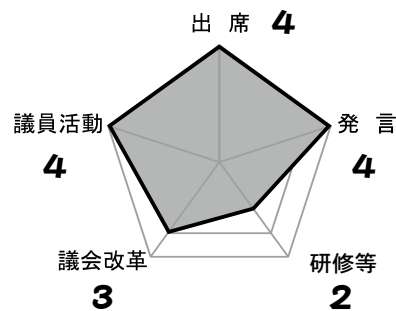
まえざき しげる
前崎 茂



72歳

当選4回

- ・産業常任委員
- ・議会運営副委員長
- ・南十勝複合事務組合議会議員



出席	本会議、各委員会、各種研修会に出席、研鑽することができた
研修等	コロナ禍で研修や視察も一部しか開催できなかった（リモート開催の機会が増加した）
議会改革	住民福祉の向上に取り組み、住民要望や意見、町政の課題等を議会で取り上げることができた
議員活動の抱負	新聞等マスメディアの情報を整理し、一般質問や委員会での発言に生かす。また、地域での住民要望等の聴取も必要であり、昨年と同じスタンスで取り組む



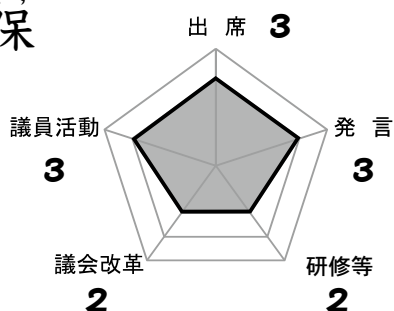
次のページも「議員の自己評価」

ほしか ひろやす
星加 廣保



84歳

当選5回



- ・総務常任委員
- ・議会運営委員

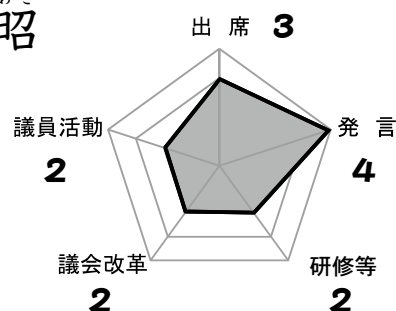
発言	各会議等で、自分の考えや意見を発言することができた
研修等	コロナ禍で研修の機会が減り、一部しか受講することができなかった
議会改革	コロナ禍による制限により、各種事業に取り組みなかった
議員活動の抱負	収束の兆候が見えないコロナ禍であるが、制限のなか頑張りたい

しむら くにあき
志村 國昭



71歳

当選3回



- ・総務常任委員
- ・議会運営委員
- ・議会選出監査委員

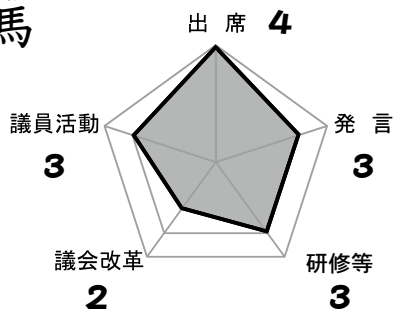
研修等	研修の機会が減り、活動に生かすことはできなかったが、所管事務調査などを通じて研鑽することができた
議会改革	コロナ禍で議会報告会、懇談会が開催できず残念であったが、開催すべきか否について真剣に議論はできた
議員活動	団体活動などに参加する機会が大幅に減り、それに伴い、町政に対する意見や要望を広く聴取する機会が激減した
議員活動の抱負	コロナが終息しなければ、議員活動も従来通りにできないが、この状況で「どう対応するか」自分なりに模索しながら、身近な課題に対応していく

わたなべ ふくま
渡辺 富久馬



80歳

当選4回



- ・産業常任委員長
- ・議会運営委員

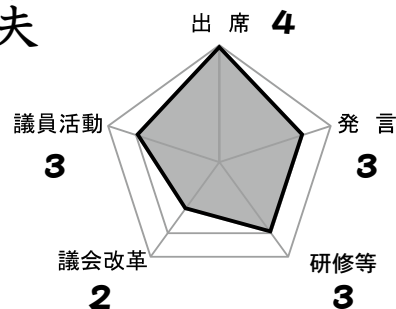
発言	発言には簡潔・明瞭を心掛けた
研修等	研修は明確な目標を持ったものであった。今後の活動に生かす予定である
議会改革	コロナ禍により各事業が行われず、その意志はあっても取り組めなかった
議員活動の抱負	コロナ禍により、不本意な一年であった。今年は第6次まちづくり計画の2年目であり、突きつけられる課題も多くなることが予測される。町民の“生の声”を聞きながら議員活動を続けたい

やまや てるお
山谷 照夫



76歳

当選4回



- ・産業常任委員
- ・議会運営委員長

研修等	明確な目的をもって参加した。今後の活動に生かしたい
議会改革	コロナ禍により各事業が行われず、取り組めなかった
議員活動	町民の意見や要望に応えることができた。提出書類は全て提出した
議員活動の抱負	去年はコロナ禍により不完全燃焼であった。本年は、広尾町の課題（赤潮被害、自然災害）等に向けて議員活動をする

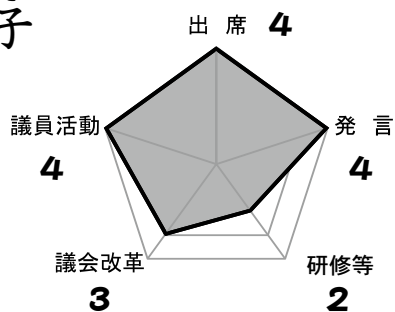
はたて けいこ
旗手 恵子



74歳

当選12回

- ・総務常任委員長
- ・議会広報特別副委員長



発言	自分の考え、意見を発言することができた
研修等	コロナ禍で研修（視察）は、一部しかできなかった
議会改革	町民の声や要望などを議会で取り上げた
議員活動の抱負	町民の要望をよく聞いて、その解決のために力を尽くす。他市町村での先進的な取組など常に把握し、本町でも取り組めるよう努める

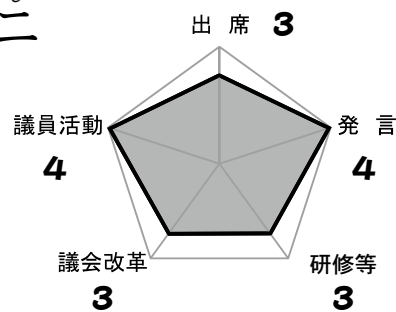
おだ まさじ
小田 雅二



71歳

当選7回

- ・総務常任委員
- ・議会広報特別委員



研修等	研修に明確な目的を持たずとも、常に自己の自治体との比較・検討に徹する事で意義深い研修となった
議会改革	議会改革イコール自己改革とも言えるため、色々な場面や視点から取組を想定するようにした
議員活動	近隣町村などの状況や課題にも広く視点をあて、町政に対する議員としての責務を常に意識した
議員活動の抱負	「着眼大局着手小局」。一議員として原点に立ち返り、町の政策に一つひとつ向き合うことから始めていきたい

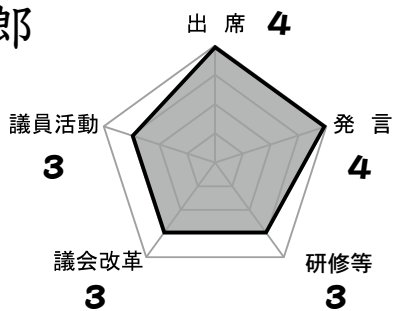
ほりた しげお
堀田 成郎



55歳

当選4回

- ・議長
- ・十勝圏複合事務組合議会議員
- ・とちろ広域消防事務組合議会議員



研修等	研修の開催もおぼつかなかったが、概ねできた
議会改革	コロナ禍で様々な制限があり、考えていたような活動は行えていないが、モニター会議では活発な議論ができた
議員活動	概ねできた
議員活動の抱負	未だ新型コロナの収束は見通せないが、本年においては、できる限り町民の皆さんとの意見を交換する機会を設けたい

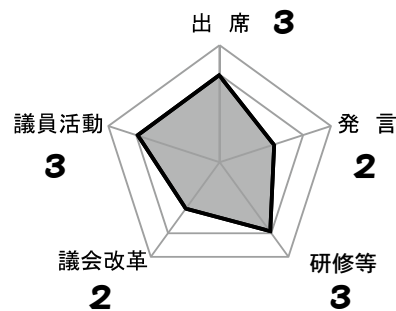
はまがしら まさる
浜頭 勝



63歳

当選4回

- ・副議長
- ・産業常任委員
- ・議会広報特別委員
- ・とちろ広域消防事務組合議会議員



発言	この一年、一般質問をした記憶がありません
研修等	講演動画の視聴はしていないが、概ねできた
議会改革	やはり、新型コロナの影響は大きかった
議員活動の抱負	去年は新型コロナに翻弄されたが、議員活動に大切な「見る・聞く・話す」ということを一日も早く普通にできることを願う



次のページは
「議会改革・活動状況」



議会モニター会議（令和3年1月25日）

令和3年は何をした？

議会改革



継続は力なり

令和3年1月から12月までの1年間に取り組んだ主な議会改革は次のとおりです。

なお、7月27日に開催した議員協議会において、令和2年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会報告会や議会懇談会など見送りや自粛することとなりました。

議会モニター

議会の運営等に関し、町民からの要望や意見を聞くため、議会モニターを10名委嘱（定員12名、委嘱期間2年）しています。モニター会議を1月に開催しました。
※P12に関連記事

議会情報の公開

次のことについて、議会広報や町ウェブサイトで公表しています。

①議案賛否

人事案件を除く賛否のあった議案について、議員の賛否。

②議員の出欠状況

本会議、各委員会、研修等における各議員の出欠状況。

③議会活動状況

「本会議開催状況」「付

議事件・議決結果（件数及び件名）」「一般質問」「意見書」など。

会議録の公開

町ウェブサイトで本会議、予算・決算特別委員会の会議録を公開しています。（公開時期は各会議の約3か月後）

ネット中継

インターネットの映像配信サービス（YouTube）を利用して、本会議または本会議場で開催される委員会の生中継、録画中継を公開しています。

自己評価

議員活動を自己評価し、その結果を議会広報に掲載して町民に周知しました。
※P16、P19に関連記事

レポートの提出

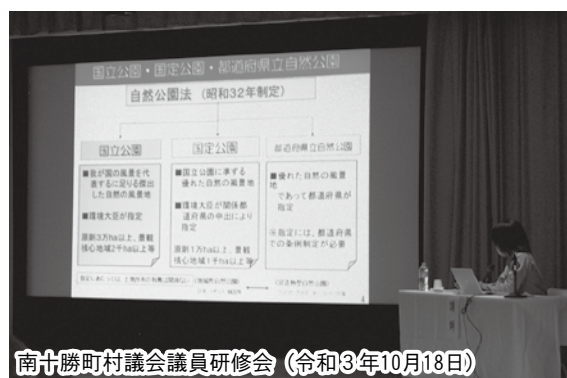
議員研修に参加した議員は、事後レポートを提出し、町ウェブサイトで公表しています。

議会報告会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見送りました。

議会懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛しました。



議会のこと

教えて！さーたちちゃん



Q

議会の「定例会」と「臨時会」ってなに？



「定例会」は、広尾町では年4回と条例に定めてあり、3月、6月、9月、12月に招集されるんだよ。「臨時会」は、定例会以外で必要があるとき、特定のことに限って審議をするために臨時で招集される議会のことなんだよ。
〈臨時会の回数〉
令和3年7回、令和2年7回、令和元年4回、平成30年3回



令和3年 広尾町議会の活動状況

※令和3年1月～12月

1. 本会議開催状況

	回数	会議日数	付議事件数	傍聴者数
定例会	4回	14日	132件	5人
臨時会	7回	7日	27件	0人
合 計	11回	21日	159件	5人

2. 付議事件数・議決結果

(単位：件)

区分	提出者	種類・件数	議決結果・件数
定例会	町長	条 例	26
		予 算	48
		決 算	10
		人事案件	5
		契 約	1
		専決処分	7
		そ の 他	15
		小 計	112
	議員	条 例	
		意 見 書	11
		規 則	
		そ の 他	3
	委員会	条 例	1
		規 則	1
		そ の 他	4
	小 計	6	6
定例会 計		132	132
臨時会	町長	条 例	5
		予 算	9
		人事案件	
		契 約	3
		専決処分	10
	小 計	27	27
	議員	条 例	
		そ の 他	
	小 計	0	0
	委員会	そ の 他	
臨時会 計		27	27
年 間 件 数		159	159

3. 一般質問

区 分	定例会				延べ 人数	実 人数
	第1回	第2回	第3回	第4回		
質問者数	5人	5人	5人	4人	19人	7人

4. 委員会開催状況

委員会名		会期中	閉会中	計
総務常任委員会		0日	4日	4日
産業常任委員会		0日	4日	4日
議会運営委員会		2日	5日	7日
特別委員会	予 算 審 査	3日	0日	3日
	決 算 審 査	3日	0日	3日
	議 会 広 報	0日	12日	12日
	議員定数等調査	1日	0日	1日
合 計		9日	25日	34日

5. 研修・視察活動

①議員研修会

日程	参加人数	研修地	内 容
10/18	10人	広尾町	南十勝町村議会議員研修会 「日高山脈襟裳地域の国立公園 指定について」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北海道町村議会議長会主催及び十勝町村議会議長会主催の研修が中止となりました。

なお、全国町村議会議長会で公開した、町村議会広報研修会の講演動画の一部を視聴しました。

②常任委員会行政視察

産業	10/26	委員 6人	士幌町 上士幌町	道の駅の開設経緯と地場産 品の情報発信について
----	-------	----------	-------------	----------------------------

※総務常任委員会は行政視察をせず、町内で所管事務調査を行いました。

6. 意見書の可決状況

区 分	定例会				合計
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	
可決件数	2件	3件	3件	3件	11件

議会活動日誌

令和3年12月～令和4年2月

【12月】

- 3日 第6回議会運営委員会
- 7日 第4回広尾町議会定例会（～10日）
第13回議員協議会
- 9日 第7回議会運営委員会
- 10日 議会広報編集会議
- 15日 土幌町議会運営委員会行政視察 来町
- 21日 十勝町村議会議長会情報意見交換会（帯広市）

【1月】

- 3日 はたちのつどい
- 4日 広尾町消防団「新年出初式」
- 5日 広尾漁業協同組合初競り
- 6日 新年交礼会（町主催）
- 14日 交通安全署名簿奉納及び交通安全祈願祭
- 18日 第1回議員定数等に関する調査特別委員会
第1回議員協議会
高校生議会にかかる生徒との交流
- 20日 議会モニター会議
- 31日 第1回広尾町議会臨時会
第2回議員協議会
第1回総務常任委員会

【2月】

- 8日 議会広報編集会議
- 15日 第1回議会広報特別委員会
- 16日 第1回産業常任委員会
- 18日 南十勝複合事務組合議会定例会
- 25日 第1回議会運営委員会
- 28日 とち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和4年第1回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①町立図書館の運営状況について

◇産業常任委員会

- ①赤潮被害の実態と今後の見通しについて

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎかいトピックス



12/15 土幌町議会運営委員会が来町

土幌町の議会運営委員会（清水秀雄委員長ほか4名）が、議場及び議会中継施設を視察するため広尾町に来町し、本町では議会運営委員会正副委員長、正副議長が対応しました。

議会中継の導入に係る準備やメリット・デメリット、導入後の作業量や懸念事項等について質疑応答・意見交換を行った後、議場及び議会中継施設の視察が行われ、中継機器の操作方法等を説明しました。

広尾町議会から町民の皆様へお願いします

- ①議場ではマスクを着用し、出入りの際には手指の消毒をしてください。
 - ②傍聴席では間隔をあけてご着席ください。
 - ③体調が良くないときは、傍聴をお控えください。
- ※町ウェブサイトから議会中継を見ることができます。

過去の
録画中継も
見れるよ



町ウェブサイト
「議会インターネット中継」
QRコード